

# 各務原市議会議員大竹 大輔 かえで通信

平成27年4月  
第7号

発行人  
大竹大輔を育てる会  
会長 伏見 幸久



## 大竹 大輔

### ご挨拶 平成27年度は各務原市新総合計画元年です！ 幸せを実感できるまち各務原を目指します！

春風がとても心地よい今日この頃となりました。朝晩の気温の寒暖差も少なくなり、とても過ごしやすい毎日が続いております。私は、気持ちや凛とする冷たい空気の真冬が大好きですが、新たな生命が芽生える活力に満ちたこの季節は、活力が漲ってきますね！また、この記事を書いているころは桜が満開ですが、新緑の美しいころがあつという間にやって参ります。春は時間の流れを早く感じますね。

さて、3月に開催された第1回各務原市議会定例会で上程された新年度予算などすべて可決承認され平成27年度がスタート致しました。本年度は各務原市の今後10年の羅針盤となる新総合計画がスタート致します。健全財政、活力のある街として市内外から高い評価を受けている本市ではありますが、課題が全くないわけではございません。この多岐に渡った課題に取り組むためにも、新総合計画は重要な羅針盤となって参ります。

私自身も、「幸せを実感できるまち各務原」の実現に向け、初心を忘れることなく、迅速かつ丁寧に取り組む精進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

それでは、本年度も何卒宜しくお願い申し上げます！



## 平成27年第1回定例会3月議会報告

平成27年第1回各務原市議会定例会が2月25日から3月24日までの28日間の会期にて開催されました。

今回も多くの皆様にご傍聴の席にお越し頂き心より感謝申し上げます。

第1回定例会では、平成27年度一般会計予算をはじめ、平成26年度補正予算案、条例の制定・改廃など21件の議案が上程され、全て可決承認されました。新年度予算は、過去最大となる対前年度当初比9.7%の増となり、「誇り・やさしさ・活力」の3つのまちづくりの基本理念に、それらにつながる9つの基本目標に沿って、幅広く施策を展開する予算となっております。

平成27年度は、新総合計画元年です。「市民一人ひとりが幸せを実感できるまち各務原」となる施策に、果敢に取り組んで頂くことに期待するとともに、当然、私たち議員も積極的に取り組まなければなりません。

また、今回は、安心できるまちづくりの観点から「空家対策」について、環境にやさしいまちづくり観点から、「雑がみのリサイクル」について一般質問させて頂きました。大竹大輔の一般質問は次の通りです。↓

### 問：空家等対策の推進に関する特別措置法に対する当市の対応は？

答：「空家等対策の推進に関する特別措置法」は、平成27年2月26日に一部施行され、調査のために固定資産税情報を内部利用することが可能となったほか、必要に応じて市において「空家等対策計画」の策定や協議会の設置をすることが可能となった。これまでは空家の持ち主の確認が難しいことが課題となっていたが、今後は迅速な対応につながる事が期待される。同時に、空家等に関する施策の実施に関する基本的な事項を定めた「空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針」が策定され、この指針においては、空家かどうかの判断基準が初めて例示されるなど、空家対策の最前線である全国の自治体が、同じ枠組みによって対策に取り組めることになった。さらに、平成27年5月26日には、空家の立入調査推や「特定空家等」に対する推薦に関する部分が施行されるとともに、危険な空家の判断基準を盛り込んだ市町村向けガイドラインが示される予定になっている。本市としても、国の基本指針やガイドラインの内容を参酌し、市内の空家の現状の把握をした上で、「対応マニュアル」を策定する。

### 問：新年度予算における当市の空き家対策の方向性については？

答：平成27年度は、高齢化率が高い地区や丘陵団地など、空家率が高いと想定される地区をモデル地区として選定し、空家等の実態調査を行う。調査では、空家の外観から老朽度の確認をするとともに、所有者に対するアンケートを行い、空家になった理由や空家管理で困っていることなど、問題点を明らかにし、具体的な対策を立案するための参考とする。実態調査の際には、地域の実情を把握している自治会の皆様にも協力して戴くことによって、空家に関する地域課題を共有することができる。空家に関する課題の解決のためには、実態調査の結果を踏まえ、空家の有効な利活用と適正管理の推進が必要となる。既に実施されている緑苑地区の「ふらっと」や八木山地区の「ささえあいの家」のような地域交流拠点としての活用があるが、平成27年度もこのような拠点整備に対して、引き続き支援を行う。また、遠方に住んでいる方などでも空家を適正に管理ができる制度の創設を検討する。さらには、民間事業者による中古住宅流通の活性化を推進することも重要となり、空家問題の解決のため、行政、地域、民間事業者が連携し、効果的な対策が行えるよう推進する。



### 問：当市の循環型社会に対する方向性と取組みについて？



答：各務原市では、資源の有効利用の観点から3Rの推進や「廃棄物の減量化」などの施策や適正な廃棄物処理の観点から「ごみの適正で効率的な処理」を推進する施策などの充実強化を図ることで、さらなる環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指す。具体的な取組みとしては、紙類などのリサイクルの拡充、使用済み小型家電の回収拠点の増設や回収品目の拡大、資源集団回収の奨励、ごみ出しルールの周知徹底、北清掃センターの効率的な運転による環境負荷の低減などに取組んでいくとともに、他市の先進的な事例を調査、研究し、本市にあった施策を実施していきたいと考えている。今後も、市民の皆様や事業者の方々のご理解とご協力を賜りながら、循環型社会の形成に努める。



### 問：新年度予算における当市の循環型社会に対する新たな取組みについて？

答：新年度の新たな取組みについては、ごみの出し方を分かりやすくまとめた「ごみ出しガイドブック」を5年ぶりに刷新し全世帯へ配付、小型家電リサイクルの回収拠点を2ヶ所増設、「雑がみ」回収の啓発事業の三つを計画している。ご質問の「雑がみ」に対する取組みは、お菓子などの紙箱、封筒、トイレットペーパーの芯など、いわゆる「雑がみ」といわれる紙類の回収啓発事業を計画している。北清掃センターでは、毎年、搬入された可燃ごみのごみ質分析調査を実施しているが、平成24年度～26年度の3カ年の調査では、リサイクル可能な紙類が、約10%含まれているという調査結果が出ている。この状況に対応するため、家庭から可燃ごみとして出されやすい「雑がみ」を分別回収することにより、紙類のさらなるリサイクルと可燃ごみの減量を進めるために実施するものである。具体的には、モデル地区を選定し、「雑がみ」も資源ごみとして意識して戴くため、紙の種類や出し方などを表示した「雑がみ回収袋」を作成し、モデル地区へ配布する。また、これにあわせチラシを配付するなど重点的な啓発活動を行うことにより、地区の皆様へ「雑がみ」の分別回収にご協力を戴く。本市では、事業期間中の回収量などのデータ収集や市民の皆様への意識調査など、事業効果を検証し28年度以降の施策につなげていきたいと考えている。

※ 質問の動画は、市議会のホームページでご覧頂けます！

<http://kakamigahara.gijiroku.com/video/#>

または

<http://otakedaisuke.com/>



## 大竹大輔市政報告会inつつじが丘

平成27年2月8日(土)、つつじが丘ふれあいセンターにて、第2回大竹大輔市政報告会を開催させて頂きました。当日は、約120名の皆様のご参集賜り心より御礼申し上げます。また、浅野健司市長はじめ、岐阜県会



↑約120名ご参加を頂き有難うございました！



↑浅野健司市長からご挨拶を頂きました！

議員足立勝利様、松竹会 会長松井義孝様、鶴沼羽場町まちづくり絆会 会長薫田友志様など、多くのご来賓にご臨席賜りました。

つつじ大竹大輔を育てる会 会長市原廣幸氏の挨拶から始まった市政報告会は緊張感がありつつも終始穏やかな雰囲気で行進致しました。

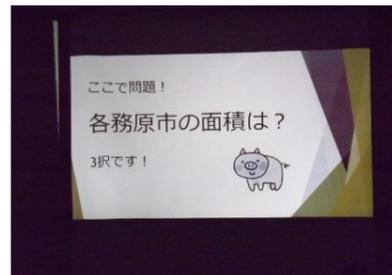
今回の市政報告会は、2部構成となっており、第1部では大竹大輔の活動報告を踏まえ、議会報告や統計からみた各務原市、各務原市の現状や新年度の取組みなどを説明させて頂きました。

第2部では参加者の皆様と親睦交流と共に多くの意見交換をさせて頂き、地域の課題や要望など貴重なご意見を数多く拝聴させて頂きました。

市政報告は、議員の責務であると考えます。

今後も定期的に市政報告会を開催させて頂き、各務原市の現状や課題、また県や国とどのように連携をとっているかなどご報告させて頂きます。また、スクリーンを効果的に活用するなど、「わかりやすく！楽しく！」を念頭の置き開催できるよう取り組ませて頂きます。

今回の市政報告会も是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。



↑クイズなども交えて...  
知っているようで知らないことも...

市政報告会で使った資料はホームページに掲載しております！こちら是非ご覧ください！

<http://otakedaisuke.com/>

